

去年上一年より多し千三百三十九兩以上
 夜に多しと云ふ。及日口為高申、物亦
 他道に比して、便格常二三分、分一
 高價に居り、頃來此二顯に増え、せ
 り、省伯知科及人馬に安んずるに、
 成氣三三二、案際三都令三、
 四下、り、相度三定、則、弟、
 丙、女、女、女、上、申、
 照、年、九、
 七、長、三、
 山、
 山、

地五十一

乙才百号

三事出仕

善記友

記保保

十月廿二日
 七号為書西山宮酒

酒所大書記官法政死開局、義高為

本、
 札幌在、
 ノ、
 二月間、
 也

光緒十三年十月廿二日

國振長官恩田清隆

大政大臣之御書

長官黒田

三等出仕

書記官

乙第百壹號

地所請取ノ義上申

十三年十月十日

五等屬肥後省正調

記録課

會計課

當使管下後志國高嶋郡宇宮村内地所千貳百六坪

餘石炭團場ノ為海軍省可引渡旨明治七年五月三日

御達相成候旨引渡相濟候段同年七月中乙第百拾

四号ヲ以及御届置候處該地ノ義ハ即今候内石炭運搬